増林地区コミュニティ推進協議会のシンボルマークです。

コミュニティ　川のあるまち

ましばやし

コミ協だより

2004
平成16年　9．1
No.20

増林地区コミュニティ推進協議会ホームページのURL　http://homepage3.nifty.com/mashibayashi_comi/index.htm

発行／増林地区コミュニティ推進協議会　〒343-0011 越谷市増林２丁目82番地　増林地区センター内　☎962-2855

「東埼玉道路」まもなく開通します。

東埼玉道路の工事が急ピッチで行われています。

「東埼玉道路」は、埼玉県南東部地域の慢性的な交通渋滞に対処するため、国土交通省が事業の推進に努めている新しい幹線道路です。この「東埼玉道路」は八潮市内の東京外かく環状道路を起点に、草加市・越谷市・吉川市・松伏町・春日部市を経て、庄和町内の庄和インターチェンジ（一般国道十六号との交差部）に至る延長一七．六kmの道路で地域の連絡はもとより、首都圏における交通の利便性の向上にも寄与する良好な道路となります。

現在、八潮市八条から吉川市川藤までの五．七km区間において、埼玉国体や越谷レイクタウンの連絡路として利用できるように、側道整備の工事が行われています。増林地区内では、元荒川と新方川に橋が架かり大相模や八潮方面への交通の円滑化が期待されます。

彩の国まごころ国体の会場となる越谷総合公園へのアクセスとして、都市計画道路越谷総合公園川藤線との交差部まで、一般道のみ彩の国まごころ国体前に開通する予定です。

将来は四車線の自動車専用道路が高架構造で整備される予定で、東京外環を経由して東北自動車道や常磐自動車道などとも接続されます。

自治会紹介
前波自治会

前波自治会は、増林地区の一番北に位置し、古利根川、逆川、新方川の三方に囲まれて、野鳥の森公園の隣に位置し田園風景の広がる自治会です。

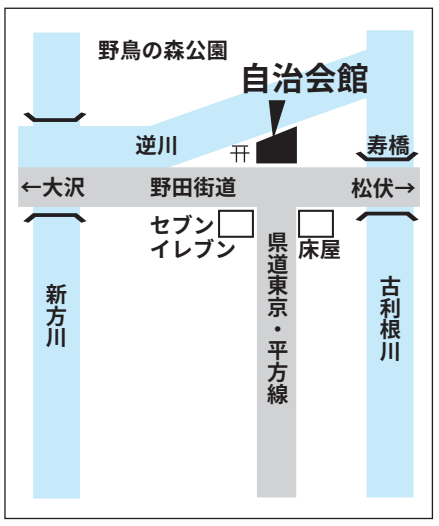
自治会の主な行事は、親睦会、六月と十二月、年二回地域美化を兼ねた自治会館周辺とふれあい公園の草取りなどです。

自治会親睦会

親睦会は、自治会館を会場に各班の班長さんや各役員の方々の協力をいただいて、模擬店やビンゴゲーム、カラオケなど多くの方が参加し、和気あいあいと楽しい一日を過ごします。

自治会の状況

ここ十数年、世帯数が八十世帯で推移しています。二十代、三十代の若い世代の減少が著しく子供会、育成会が来年度から一時休止という現状です。子供会、育成会が行っていた行事などを自治会としてどう受けついでいくか、又地区体育祭など、どう参加していくか議論の最中です。



増林カージナルス30周年にあたり

増林カージナルスは昭和四十八年に発足以来、三十周年を迎えることになり、昨年十二月十四日に増林公民館にて記念式典を挙行致しました。

式典にはOB（卒部生）を始め、増子連会長、少年野球連盟会長及び役員、各チームの監督、東武少年野球協会、増林小学校校長、公民館長等々のご来賓の方々をお迎えして盛大に行われました。表彰では特別功労賞には発足以来三十年間チームの監督として尽力された轡田和夫監督とコーチとしてチームに貢献された澤田清春氏に、功労賞にチームに貢献された七名の方々に、坂田理事長から表彰されました。

表彰に続いて、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。増子連は野球を通じてチームワーク地区少年野球連盟の高橋会長は、少年野球が地区の子ども育成活動と密接に結びつき、地区活動を支えていることを、増林小学校の会田校長からは、少年野球に入っている子ども達は挨拶がきちんとできているとお褒めの言葉をいただきました。また増林公民館の関根館長は、野球を通じて仲間への思いやり、助け合い、ルールの遵守など社会生活に必要な適応力が自然と身につくのではないかと…OBからはは当時の思い出話やカージナルスで野球をしてよかったと話されていました。

式典に先駆けて、卒部生二六〇名、現役二十七名の功績を残そうと記念誌を発行しました。表紙はカージナルスの監督として三十年間指導してきた轡田監督の似顔絵を子ども達から公募し、採用しました。過去十年間キャプテンを任された子からのメッセージを掲載、過去の写真集めるのに苦労しましたが、それなりの記念誌が発行できました。

三十周年を迎えることができたのも、轡田監督をはじめ、歴代のコーチの皆さん、連盟関係者や地域の野球関係者、保護者の皆さんのご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

カージナルスは一月下旬から新メンバー体制でスタートしました。寒い日々の増小での練習から連盟の新人戦、各種大会、交流大会等三十試合以上戦いますが、今回の三十周年を節目に地域の交流を深めながら、増林カージナルスの歴史が四十周年へとあゆみ続けます。なお一層のご支援をよろしくお願い致します。

最後に少年野球に入りたいと思う子どもさんがおりましたら、地区に少年野球チームがありますので、是非声をかけて下さい。

小川記

2004年　第59回国民体育大会
彩の国まごころ国体
とどけ この夢 この歓声

夏季大会　平成16年　9月11日(土)～14日(火)
秋季大会　平成16年10月23日(土)～28日(木)

コスモスの花で国体選手を迎えよう

秋の国体会場をコスモスの花で色を添えられればと、六月二十四日、増林小学校の五、六年生一二五人と越谷市建設業協会の会員六十人は、越谷市民球場東側道路脇約五〇〇メートルにわたって、コスモスの種をまきました。

児童と建設業協会は、昨年、リハーサルとして同じ場所にコスモスの種をまいて、建設業協会員の人達が生育管理をして見事な花を咲かせました。

この日は、板川市長と国体マスコットの「コバトン」も参加して種をまきながら「国体開催のころにコスモスの花が見ごろになればいいな」と話していました。

炬火採火式（入場無料）

十月十五日(金)午後五時開式
科学技術体験センター「ミラクル」

オリンピックの「聖火」にあたる炬火を〝水郷こしがや〟にちなみ、市内を流れる元荒川・中川・綾瀬川・古利根川・新方川・葛西用水の各ポイントから採水した水を利用して、高温の水蒸気で採火します。炬火名は「明日を開く希望の火」です。

増林在住の「あの人、この人と」題し、「ボランティア雑感」

飯田　弥寿嗣

周囲を美しい川面にかこまれ、緑豊かな此処〝ましばやし〟の地に生れ育って七十八年、私は駆け出しの頃地元小学校に勤務、地域の皆さんに大変お世話になったものですが、その後各地の小学校や県教委等を経て、地元越谷青年の家に着任したのは、それから二十五年も後のことでした。久しぶりに地域の青年諸君と楽しい交流がもてたのも束の間、転勤、その後再び地元東中学校長としてお世話になることができ、故郷の人々の暖い人情に包まれた三年間でした。その後同じく地元中央中学校で六年間、いずれも人間性豊かな地域の人々や生徒諸君に恵まれ支えられて、無事定年退職することができました。退職後は長い間お世話になった皆さんに少しでもご恩返しのつもりで、ロータリークラブ、日赤奉仕団、退職校長会、地元有志の一八会等、奉仕活動のお手伝いをさせて頂いております。

ここで、特に日赤関係の派遣により、昨年秋、金沢市で開催された〝全国ボランティア・フェスティバル〟に参加する機会に恵まれましたので、その時の感想の一端を述べ、私の責めを塞がせて頂きたいと思います。

埼玉から参加した一行四名は、大会前日の夕方早く現地に到着、折角の機会なので市内の名所旧跡を訪ねてみることにしました。城下町特有の迷路のような裏道を通り抜け、旧武家屋敷近くまで辿りついた時、後から来た買い物途中らしき中年婦人から「見学だったら私の後に付いてきなさい」と言う優しい言葉につい甘えて、このことと付いていったものです。婦人は先頭に立って〝旧足軽屋敷〟に案内、当時の足軽生活の説明は誠に要を得たものでした。

その後何となく婦人が先に立って案内するがままに、武家屋敷跡や家老屋敷、堀割りなどの説明に自然と引き込まれながら、最後には大分離れた前田利家を祭った尾山神社から近江市場まで案内され、ホテルへの近道まで教えられ別れを告げたのです。別れ際に「明日は必ず金沢城と兼六園を見て下さいよ」と言う言葉が印象的でした。この間軽やかな足取りでさわやかな説明を交え、ごく自然体で案内してくれたのです。始めは単なる気まぐれか、プロ案内人の押し付け行為かとも勘ぐりましたが、次第に婦人の熱心な説明に遠方よりの外来者に対する思いやりと真心を感じ深く心をうたれたものでした。そして別れ際の言葉には自ずから郷土愛と誇りが感じられ、流石金国大会開催の地ならではの思いを深めると共に、本大会全般を通して又、この大会のメインテーマ「来まっし石川、つなげよう心の輪、あんやとね、あったかボランティア」の言葉の中からも北陸路の人々の人情味溢れる豊かな人間性に接した思いで、ほのぼのとした心で帰ってきました。

この地は又、平成九年に発生したナホトカ号重油流出事故の被災地でもあり、当時全国から寄せられた貴重なボランティア活動への深い思いが日本海沿岸の人々の心の中に刻み込まれており、日常生活の中で自然と行動に表われるのではないかとも推察してみた大会でした。

思い出に残る増子連フェスティバル

場所は、増林小学校の屋内運動場、一九二人の子供が、「県民かるた」（二十一世紀）かるたの絵札を真剣な眼差しで見つめている。約四五〇名の親子がいる会場、数分の静寂の中ステージ上で読み手が「宇宙まで夢を届けた若田光一、宇宙まで…」読み手が読み札を読み終わらない内に「はい！」「はい！」、一斉に六四本の手が絵札に伸びる。伸ばした手を絵札から離さずに審判の方を見る。一瞬の緊張の後に三二本の旗が一斉に動き勝者の判定をする。興奮が会場一杯にあふれる。

一方、体育館から校庭に目をやると、校庭では「かるた取り大会」に参加しなかった親子連れがクラフトに夢中になっている。模擬店コーナーでは焼きそばやフランクフルトを求めて長蛇の列ができている。遊びのコーナーでもストラックアウトの順番待ちをしている。バザーを目的に来ている人もいるようだ。

これは、六月十三日に開催した増子連フェスティバル二〇〇四の会場風景。もう少しクラフトコーナーの様子を紹介すると、空き缶を使って缶ポックリを作り、缶に乗って遊び普段より一段高く成って喜んでいる子供がいる。牛乳パックを使ってフリスビー、トイレットペーパーの芯を使ってヘビ、カメラケースの蓋を利用したブンブンこま、割り箸を使った割り箸鉄砲、風船に小麦粉を入れたグニョグニョ人形作りは親子で手を真っ白にして作っている。どれも作って遊べるものばかり、そして、いつも人気の勾玉作り、蝋石とヤスリを持って夢中になっている。どの子も何を作ろうかいっぱいあって迷っている様子でした。

「かるた取り大会」参加者九五チーム三五七名、朝の八時から焼いた八五〇個の焼きそばも完売。

会場は、約九〇〇人の親子で溢れ、それぞれの人が思い思いにフェスティバルを楽しんでいる。

会場が体育館と校庭の二ヵ所に別れていて、準備等も大変だったけれど「かるた取り大会」の審判も前もって講習会をしたので上手くいった。子ども達も参加するにあたってグループでしっかり練習してきたようだ。練習では親子のふれあいが図れ、試合ではチームワークの勝利を喜んだことだろう。

試合で負けてしまった子ども達もきっと思い出に残るフェスティバルだったと思う。

今年のフェスティバルを終えて、今後もみんなの協力で子ども達一人一人に夢を届け、楽しく思い出に残る増子連フェスティバルが開催出来たらいいなと思っている。

護郷（もりさと）神社

去る七月三日（土）護郷神社の例大祭があるると思われました。青空に高々と、五畳ほどはびえ立ち、地域が神社に対する信仰の様子がうかがわれます。祭りの運営は上一・二区自治会で行っています。今年の運営は上二区自治会です。上一区自治会を二組に分けて、三組で神社世話人と一緒に祭りの運営にあたります。

久伊豆神社の神主により儀式（玉串）が行われ、招待者を招いての式（直会の儀）にうつり、夜にはカラオケや踊りが催されます。

四百名余りの参加者がいて、祭りもにぎやかです。今年から世話人さんは揃いの法被姿で花を添えていました。また祭りを通して人々のふれあいの場と楽しく過ごせるように務め祭りを執り行なうそうです。

護郷神社には四体の神が祀られています。

一、浅間神社

二、八幡神社

2004ときめきチャレンジましばやしフリーマーケット募集!!

一、日時
平成十六年十月十日（日）
午前九時三十分～午後二時
雨天の場合は、中止

二、会場
増林地区センター周辺

三、対象
地区内在住の個人又はグループ一人（一グループ）一区画とします。
一区画（二m×四m）
団体の部
各団体の事業活動の一環としての出店をお願いします。
一般の部
リサイクル、農作物を中心とした出店をお願いします。

四、区画数
三三区画

五、出店料
五〇〇円

六、申し込み
九月十八日（土）から
九月二十五日（土）迄
申込み順・電話不可
定員になり次第〆切
区画割の選択は、申込み順

七、申込問合先
増林地区センター・公民館
電話　九六二一―二八五五

コミ協お知らせ

三、香取神社　四、日枝神社
一年間に五つの行事があるそうです。
一月十一日の新年祈願祭、六月三十日の初山祭、七月十九日の虫追い祭、十月九日の九日祭、十二月三十日のおかがり祭…ということです。
七月三日に行われた例大祭は初山祭のことで、本来は六月三十日ではあるが、近年の状況で六月三十日に近い休みの日、ということに改定されたそうです。

ふれあい農体験

ふれあい（交流）部会

じゃがいも作り　八月二十一日（土）
大根の種まき　九月五日（日）
収穫祭が十一月十三日（土）に行なわれます。
直売は十一時頃からです。

さわやかウォーキング“10”

ふるさと（故郷・環境）部会

第十回になる今回は、十一月上旬にウォーキングと記念イベントを行う予定です。
詳細は、地区（公民館）だよりでお知らせします。

昨年のさわやかウォーキング“９”の様子

編集後記

今年の天候は春から異常気象にみまわれ、例年より低温が続いたり、真夏日が連日猛暑を振るい皆様におかれましても大変な年になったことと思われます。

増林地区皆様の御協力のもと、本誌も無事発行される事となりました。

これから秋にかけて、地区のイベントや、彩の国・まごころ国体も市内各所で開催される予定で、市民球場・総合体育館しらこばと運動公園にて色々な競技が行われます。

増林地区コミュニティ推進協議会でも、各種サポートが予定されています。皆様の御協力を得て、地域一丸となって盛り上げ成功させましょう！

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています